



# 亀っ子だより

第25号

— 亀崎小学校 校長通信 —

2020年8月21日

## 一学期にがんばったこと

8月7日（金）、終業式（テレビ放送）の後、各学年の代表が一学期にがんばったことをみんなの前で発表しました。以下が、その内容です。

○一年 くめ ふう

わたしが、一ねんせいになってうれしかったことは、あたらしいおともだちができたことです。「ともだちになろう」といってくれたので、いっしょにあすれやじゃんぼすべりだいであそんで、たのしかったです。べんきょうでは、ずこうをがんばりました。はこのつかいかたをいろいろかんがえました。おもったとおりにできて、うれしかったです。二がっきもおともだちとなかよくしたいです。

○二年 小林 未空

六月に町たんけん、かめざき公園に行って虫をつかまえたことがうれしかったです。公園には、虫がいっぱいいました。わたしは、バッタをつかまえたいので、もう一回、公園に行きたいです。学校のはたけで、そだてているやさいがすくすくそだっていくのがたのしいです。これから、どれだけやさいがとれるかがたのしみです。

二学きは、うんどうかいでリレーのせんしゅになりたいのでがんばりたいです。

○三年 森 翔太郎

ぼくが一学期で一番楽しくて思い出にのこっているのは、社会のべん強で行った校区たんけんです。一、二時間目のじゅぎょうの時にかめざきしょうやかみ前じん社、公園などに行き、かめざきの町を見て回りました。いつものじゅぎょうとはちがって、外へ友だちといっしょたんけんができて、あつくてつかれたけど、とても楽しくべん強できました。ちがう場所も、友だちとたんけんしてみたいと思いました。

○四年 黒岩 萌音

私は一学期に大変だったことと、よかったことがあります。大変だったことは、コロナでいつもちがう生活をしたことです。学校が休みになって友達と会えなくなりました。わたしはさみしかったです。勉強も学校と家でやっていることがちがっていて大変でした。よかったことは、学校が始まって、友達に会えたことです。友達といると安心できます。今回のことで友達の大切さがよく分かりました。これからも友達といっしょにいる時間を大切にしたいです。

○五年 榊原 杏

五年生のスタートは、始業式で新しいクラスが分かったとたん、また次の日から二か月も学校が休みになってしまいました。休みの間「早く友達に会いたいなあ」「放課にドッチボールやなわとびをしたいなあ」と思っていました。今、学校が始まってとてもうれしいです。図書委員の仕事も始まりました。登校してすぐに図書館に行かないとけなかつたり、ビニールの仕切りのせいで、バーコードが読み取りづらかつたりすることはあるけれど、前からやってみよう委員会だったので、がんばっています。毎日、検温したり、マスクをつけたり、はなれて過ごすなど、新しいルールもあるけれど、これからも元気に過ごしていきたいです。

○六年 山本 陸直

ぼくが一学期でがんばったことは、歴史の勉強です。初めて歴史の授業を受けた時は、難しくて大変だったけれど歴史の流れが分かってくると、だんだん楽しくなってきました。今では、昔の有名な人の名前や時代の名前などもすらすらと言えるようになりました。これからも、歴史についてたくさん勉強してもっと歴史に詳しくなりたいです。また、二学期からは歴史以外にも漢字や英語などの勉強にも力を入れて、小学校生活最後の一年をしめくりたいです。

## 表彰の記録

○令和元年度 愛知県緑化ポスター原画コンクール  
入選 県緑化推進委員会理事長賞 3年 匂坂 大和

○第12回新海杯少年サッカー大会 準優勝 亀崎サッカークラブ  
竹内 獅斗(4年) 中村 公星(4年) 新美 瑠紅(4年) 林 旺汰(4年)  
石川 凜空(4年) 岩本 鳳佑(4年) 岩本 圭史(4年) 高原 魁李(4年)  
田中 啓介(4年) 成田 吉勲(4年) 六嶋 丈就(4年) 坂口 瑛翔(4年)  
※学年は、昨年度の学年です。

## 一学期終業式 校長の話

玄関を入ると右側に、賞状と盾が飾ってあります。それは、亀崎小学校が安倍内閣総理大臣から直接いただいたものです。本来であれば、亀崎小学校の子ども・先生全員で東京まで行っていただくべきところですが、そうもいかないのが、私が代表で受け取ってきました。この亀崎小学校は、全国の小学校の中でも指折りのすごい学校なのです。だから、そこに通うみなさんもすごい小学生なのです。亀崎小学校の一員であることに誇りと自覚を持ってほしいと思っています。

さて、この一学期、みなさんは本当によく頑張ったと思います。休校を経て、手を洗う時・トイレに行く時、きちんと距離をあけて並び、給食の時はおしゃべりをせずに食べ、運動場ではボールが使えなくても楽しく遊び、音楽では歌やリコーダーができなくても充実した授業を行い、集会やペアでスマイルができなくても、亀っ子スマイルの日をつくり出してくれました。また、普通であればもう夏休みに入っているはずの暑い日であっても、勉強に体育にとっても頑張りました。心の底からみなさんに拍手を送りたい気持ちでいっぱいです。

頑張ったのはみなさんだけではなく、先生たちもとっても頑張ってくれました。みんなが帰った後、みなさんが新型コロナウイルスに感染しないように、机やスイッチや手すりや水道を毎日、消毒してくれました。遠足やキャンプができない中、授業や学年行事を一生懸命に工夫してくれました。先生方にも心から拍手を送りたい気持ちでいっぱいです。だから、一学期が終わり、短い夏休みですが、みなさんにも先生たちにもゆっくりと休んでほしいと思っています。

最後にひとつ大切な宿題を出します。それは、大きな病気をせず、大きな怪我をせず、決して交通事故に遭わず、新型コロナウイルスと熱中症に負けないように気をつけて、あつという間にきてしまうと思いますが、8月21日(金)に元気な体と心で、担任の先生と校長先生に会うことが宿題です。よい夏休みを送ってください。私の話は以上です。

## 二学期始業式 校長の話

短い夏休みでしたが、暑くて体調を崩す人はいませんでしたか。こうして、担任の先生と元気な顔で会えていることが、私にとって何よりうれしいことです。

さて、6月1日、学校が再開された日のことです。6年1組の教室をのぞいた時、担任の福井先生がこう話していました。「今、『新型コロナウイルスに負けないように・・・』と言われることが多いですが、私は違うと思います。負けないようにではなく、勝たなければならないと思います。だからみなさん、新型コロナウイルスに勝ちましょう」と。新型コロナウイルスのことが色々分かってきた今、私も福井先生と同じ気持ちです。みなさんと先生たちと力を合わせて新型コロナウイルスに勝ちましょう。そのためには、決して緩めてはいけないことと、広げてもよいことがあります。緩めていけないことは、手洗い、食事の時のおしゃべり、そして3つの密を避けることです。このことができれば、広げられることがあります。2学期からは、コンピュータ室を使います。体育でのボール運動も行います。歌を歌ったり、リコーダー、鍵盤ハーモニカで演奏することを音楽の授業で行っていきます。先生の言うことをしっかりと聞いて、緩めてはいけないことを決して緩めず、行っていってください。そして、今までの運動会とは少し形を変えた「亀っ子スポーツデー」も行います。この後、深澤先生からお話がありますので、ワクワクしながら聞いてください。しかし、半田市でも新型コロナウイルスに感染する人がだんだんと増えています。安心してよいわけではありません。申し訳ありませんが、放課にボールを使うこと、家庭科での調理実習、児童集会、ペアでスマイルは、もう少し我慢してほしいと思います。

新型コロナウイルスに勝つために、2学期の授業で頑張してほしいこともあります。それは、話を聴くことです。話を耳と目と心で受け止めることです。先生の話はもちろん、友だちの話をしっかりと受け止めてください。みなさんの心の中は見えませんが、姿は見えます。授業中、話をきちんと受け止めているか心配な人がいたら、トントンと肩をたたきに行きます。気をつけてください。

2学期、新型コロナウイルスに勝つために、引き締めることはしっかりと引き締め、1学期にできなかったことに取り組んでいきましょう。楽しく頑張りましょう。